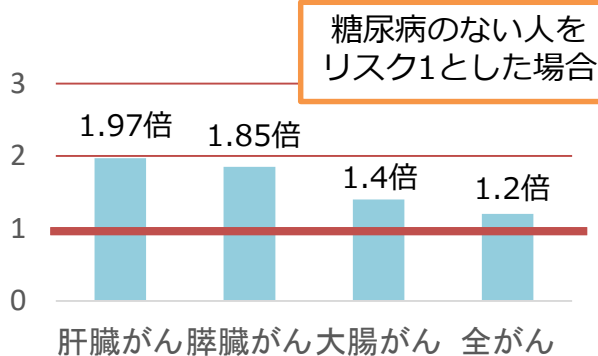


# 糖尿病があるとがんになりやすい？

## 糖尿病とがんの関係

糖尿病は、日本人では大腸がん、肝臓がん、膵臓がんのリスク上昇と関係しています。



## なぜがんのリスクが上がるの？

糖尿病患者さんでがんのリスクが高まる理由として①体内の高インスリン血症、②高血糖による酸化ストレスの亢進、③慢性的な炎症、が考えられていますが、その他に、肥満、不適切な食事、身体活動の低下、喫煙、過剰飲酒といった生活習慣もがんのリスクとされています。

## がんの予防、早期発見のために

糖尿病の方のがん発症リスクを下げるためには、第1に血糖コントロールを良好にすることが大切です。適切な食事や、適度な運動、体重コントロール、禁煙、禁酒は血糖コントロールだけでなく、がん予防にもつながります。また、がんは早期に発見し治療することが大切です。厚生労働省は、糖尿病のある方も無い方も、がん検診の受診を推奨しています。日々の生活習慣を見直しながら、定期的ながん検診を受けることで、大切な命を守りましょう！

がんの種類	検査項目	対象者	受診回数
胃がん	胃部X線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上※当分の間、胃部X線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部X線検査については年1回実施可
大腸がん	便鮮血検査	40歳以上	年1回
肺がん	胸部X線検査、喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん	乳房X線検査	40歳以上	2年に1回
子宮がん	視診、内診、子宮頸部の細胞診	20歳以上	2年に1回